きもの文化の伝承をめざした教育プログラムのデザイン

横浜国立大学大学院 教育学研究科 家政領域 M2 大矢幸江 指導教員 薩本弥生



1. 研究の背景と目的

教育基本法改正 伝統文化の継承と尊重

学習指導要領の改訂 和服の基本的着装を扱う

普及してい な

教師や環境の現状把握

授業内容の工夫

の育

2. 研究方法

ゆかた着装の授業実践(H25,H26実施)







着つけの示範

着装実習

たたみ方示範 と実習

授業前後にアンケート調査実施

解析方法

T検定、因子分析、パス解析、自由記述の集計

3. 結果

校種による比較(中学校3校、高校2校)

共通

因子間の相関が有意(0.1%,拘束感除く

伝統文化 関心

ゆかた着物 関心,意欲

差異

中学校

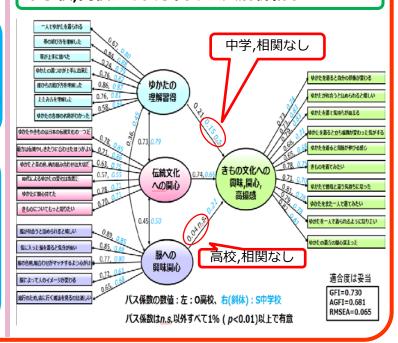
高校

ファッションへの関心 伝統文化関心

ゆかた理解習得 伝統文化関心

ゆかた着物関心,意欲,高揚感

中学校,高校別の因子間のパス解析結果



考察と授業提案



理解度、習熟度 → 高まる 低い もともと

いつもと違う自分や友達

→高揚感(大)



授業提案

高校生

理解度、習熟度 高い →高い

もともと 少し上昇

難しかった点、自己評価 ▶ 踏み込んだ具体的な内容

お辞儀

授業提案

体験的内容を重視したゆかた着つけ後の内容

例:お辞儀や立ち居振る舞い、盆踊り 自分の体験した通過儀礼など

精神的成長が高く理解から興味につながる内容 例:和服の文化面、主体的なファッションショー 和服の構成、テーマを持った調べ学習など